



三菱UFJリース

2013年3月期決算概要

決算発表日：2013年5月15日

- お問い合わせ先
広報IR部
TEL 03-6865-3002 FAX 03-6895-5306
- 当社ホームページアドレス
<http://www.lf.mufg.jp/>（日本語）
<http://www.lf.mufg.jp/english/>（英語）

※本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますので、ご注意ください

Value Integrator

目次

1. 2013年3月期決算概要	3
2. 連結決算主要項目の推移	4
(1) 損益計算書 関連項目	4
(2) 貸借対照表 関連項目	6
3. 資金調達の状況	8
4. 貸倒関連費用等	9
5. 主要連結構成会社の決算概要	10
6. 営業状況(契約実行高)	12
取引種類別内訳、取引種類別構成比	12
国内外契約実行高の推移	12
リース契約実行高の増減推移	12
機種別(リース・割賦)、取引形態別(金融・その他)内訳	13
7. 営業の取組み	14
1) オペレーティングリース	14
2) 中古機器売買	14
3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)	15
4) オートリース	15
5) 環境関連サービス	16
6) 不動産関連ファイナンス (不動産関連サービス)	17
7) シンフォニー (不動産関連サービス)	17
8) PFI事業	18
9) ファクタリング	18
8. 2014年3月期業績予想	19
9. 中期経営計画“ Vision 2013 ”	20

1. 2013年3月期 決算概要

(金額単位:億円)

	2013/3期	前期比 (増減率)	2012/3期
売上高	6,981	-3.7%	7,246
売上総利益	1,180	+2.6%	1,150
営業利益	599	+12.8%	531
経常利益	629	+12.7%	558
純利益	360	+4.0%	346
契約実行高	13,562	+6.3%	12,764

(金額単位:億円)

	2013/3期	前期末比 (増減率)	2012/3期
純資産	4,680	+11.2%	4,208
総資産	41,777	+13.5%	36,822

国内経済は、昨年末からの円高修正に伴う輸出環境の改善などにより、景気回復への期待が高まってきたものの、世界経済の減速懸念などから新たな設備投資への取り組みは依然として慎重な姿勢も見られるなど、全体としては予断を許さない状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、多様化・高度化するお客様ニーズにお応えする総合ファイナンスカンパニーとして持続的な成長を遂げるべく、中期経営計画「**Vision2013**」で掲げた各種戦略・施策を着実に実行に移してまいりました。

損益面では、売上総利益は前期比2.6%増加の1,180億円、営業利益は前期比12.8%増加の599億円、経常利益は前期比12.7%増加の629億円とそれぞれ増益となりました。純利益は前期比4.0%増加の360億円となり、2期連続で過去最高益を更新いたしました。

営業面では、当期の契約実行高は、ファイナンスに留まらない様々な付加価値型商品サービスの提供を通じ、設備投資ニーズなどに積極的に対応した結果、前期比6.3%増加の1兆3,562億円となりました。

純資産は純利益の積上げなどにより前期末比11.2%増加の4,680億円、総資産は、本年1月に全出資持分を取得した航空機リース会社 JSA International Holdings, L.P. (JSA) が新たに連結対象になったことなどにより、前期末比13.5%増加の4兆1,777億円となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位：百万円)

	連結				
	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
1 売上高	818,618	747,043	724,762	724,611	698,155
	-17.1%	-8.7%	-3.0%	-0.0%	-3.7%
2 賃貸料収入	613,716	558,615	560,610	562,878	546,625
	-19.7%	-9.0%	+0.4%	+0.4%	-2.9%
3 割賦売上高	140,159	122,615	99,414	92,533	85,021
	-14.7%	-12.5%	-18.9%	-6.9%	-8.1%
4 営業貸付収入	38,393	39,048	36,802	35,611	35,592
	+3.3%	+1.7%	-5.8%	-3.2%	-0.1%
5 その他の売上高	26,349	26,764	27,935	33,587	30,914
	+22.0%	+1.6%	+4.4%	+20.2%	-8.0%
6 売上原価	713,903	637,474	606,033	609,533	580,121
	-19.2%	-10.7%	-4.9%	+0.6%	-4.8%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	87.2%	85.3%	83.6%	84.1%	83.1%
	-2.3P	-1.9P	-1.7P	+0.5P	-1.0P
8 賃貸原価	539,425	484,581	479,725	484,374	469,173
	-21.2%	-10.2%	-1.0%	+1.0%	-3.1%
9 割賦原価	129,784	112,819	90,628	84,026	77,183
	-14.7%	-13.1%	-19.7%	-7.3%	-8.1%
10 資金原価	34,533	26,916	20,502	17,986	17,948
	-0.2%	-22.1%	-23.8%	-12.3%	-0.2%
11 その他の売上原価	10,160	13,157	15,177	23,146	15,816
	-12.8%	+29.5%	+15.4%	+52.5%	-31.7%
12 売上総利益	104,715	109,569	118,729	115,078	118,033
	+0.7%	+4.6%	+8.4%	-3.1%	+2.6%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	12.8%	14.7%	16.4%	15.9%	16.9%
	+2.3P	+1.9P	+1.7P	-0.5P	+1.0P
14 従業員数	2,122	2,219	2,245	2,275	2,402
15 一人当たり売上総利益	49.3	49.3	52.9	50.6	49.1
	+4.8%	+0.0%	+7.3%	-4.4%	-2.9%
16 販売費及び一般管理費	77,829	83,755	62,846	61,921	58,045
	+46.0%	+7.6%	-25.0%	-1.5%	-6.3%
17 人件費	21,444	21,478	22,178	22,992	23,837
	+0.0%	+0.2%	+3.3%	+3.7%	+3.7%
18 物件費	24,594	23,193	24,221	25,207	26,155
	-11.0%	-5.7%	+4.4%	+4.1%	+3.8%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	31,790	39,083	16,447	13,721	8,052
	+649.6%	+22.9%	-57.9%	-16.6%	-41.3%
20 OHR	44.0%	40.8%	39.1%	41.9%	42.4%
	-3.2P	-3.2P	-1.7P	+2.8P	+0.5P
21 営業利益	26,885	25,813	55,882	53,156	59,987
	-47.0%	-4.0%	+116.5%	-4.9%	+12.8%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	3.3%	3.5%	7.7%	7.3%	8.6%
	-1.8P	+0.2P	+4.2P	-0.4P	+1.3P
23 経常利益	26,282	25,821	56,307	55,878	62,983
	-49.2%	-1.8%	+118.1%	-0.8%	+12.7%
24 特別利益	1,890	14,150	3,673	6,585	258
	-58.7%	+648.3%	-74.0%	+79.3%	-96.1%
25 特別損失	10,860	1,827	13,730	414	776
	+341.4%	-83.2%	+651.4%	-97.0%	+87.3%
26 純利益	7,145	20,727	25,755	34,640	36,038
	-76.4%	+190.1%	+24.3%	+34.5%	+4.0%

※下段の%、P(ポイント)は前期比を掲載

1. その他の売上高について(5行目)

主に物件販売による収入、有価証券の収入、プライベートエクイティ投資事業収入、各種手数料収入などが含まれています。

2. その他の売上原価について(11行目)

物件販売における仕入コストや各種支払手数料などが含まれています。

3. 貸倒関連費用(19行目)

(金額単位:億円)

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	83	-46	37
連結子会社等	52	-9	43
合計	135	-55	80

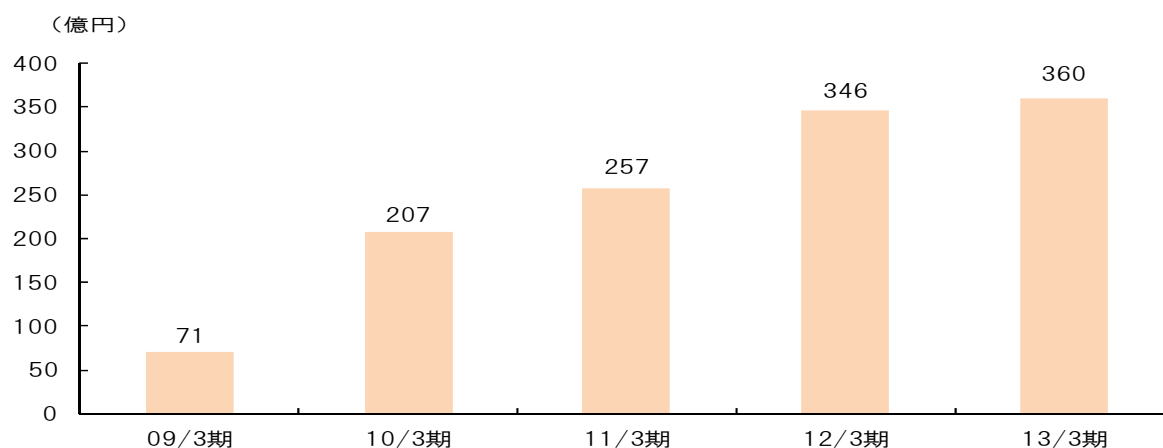
4. 特別利益(24行目)

投資有価証券売却益として約2億円計上しています。

5. 特別損失(25行目)

投資有価証券評価損等を約7億円計上しています。

6. 純利益の推移(26行目)



7. グループ会社数

当期末時点における連結子会社数、持分法適用関連会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用関連会社数
197	5

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位:百万円)

	連結				
	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末
1 純資産合計	342,633	366,891	389,802	420,864	468,061
	+9.7%	+7.1%	+6.2%	+8.0%	+11.2%
2 総資産額	3,909,077	3,885,161	3,721,136	3,682,299	4,177,784
	-1.4%	-0.6%	-4.2%	-1.0%	+13.5%
3 営業資産残高	3,497,071	3,517,982	3,393,547	3,335,620	3,713,972
	-3.7%	+0.6%	-3.5%	-1.7%	+11.3%
4 内貸貸事業	1,565,325	1,677,155	1,673,572	1,667,454	2,053,955
	-12.8%	+7.1%	-0.2%	-0.4%	+23.2%
5 内割賦販売事業	368,467	297,051	242,147	222,433	216,700
	-14.5%	-19.4%	-18.5%	-8.1%	-2.6%
6 内貸付事業	1,227,716	1,222,770	1,174,661	1,193,607	1,256,032
	+7.1%	-0.4%	-3.9%	+1.6%	+5.2%
7 内その他の事業	335,562	321,005	303,167	252,124	187,285
	+29.7%	-4.3%	-5.6%	-16.8%	-25.7%
8 破産更生債権等	47,983	46,351	40,921	49,451	46,066
	+651.8%	-3.4%	-11.7%	+20.8%	-6.8%
9 貸倒引当金	3,694	8,487	9,335	15,533	15,921
10 ネット破産更生債権等	44,288	37,863	31,586	33,918	30,145
	+913.9%	-14.5%	-16.6%	+7.4%	-11.1%
11 自己資本比率	8.4%	9.1%	10.0%	10.9%	10.7%
	+0.9P	+0.7P	+0.9P	+0.9P	-0.2P
12 ROE…株主資本純利益率	2.3%	6.1%	7.1%	8.9%	8.5%
	-11.3P	+3.8P	+1.0P	+1.8P	-0.4P
13 ROA…総資産純利益率	0.2%	0.5%	0.7%	0.9%	0.9%
	-0.8P	+0.3P	+0.2P	+0.2P	-0.0P
14 有利子負債	3,190,431	3,148,926	2,961,470	2,893,504	3,315,294
	-3.7%	-1.3%	-6.0%	-2.3%	+14.6%
15 間接調達	1,842,291	1,740,993	1,614,526	1,631,959	1,892,132
	+4.3%	-5.5%	-7.3%	+1.1%	+15.9%
16 直接調達	1,348,139	1,407,932	1,346,944	1,261,545	1,423,162
	-13.0%	+4.4%	-4.3%	-6.3%	+12.8%
17 内CP	892,900	872,400	866,000	719,300	806,200
	-0.9%	-2.3%	-0.7%	-16.9%	+12.1%
18 内リース債権流動化	162,959	152,256	101,944	104,215	139,644
	-43.4%	-6.6%	-33.0%	+2.2%	+34.0%
19 内社債	292,280	383,276	379,000	438,030	477,317
	-18.8%	+31.1%	-1.1%	+15.6%	+9.0%
20 直接調達比率	42.3%	44.7%	45.5%	43.6%	42.9%
	-4.4P	+2.4P	+0.8P	-1.9P	-0.7P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内賃貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「賃貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業貸付金 ^{※3}	合計
	一般貸付金	リースみなし取引等 ^{※1}	子会社宛貸付金 ^{※2}		
2009/3期末	9,977	1,368	208	724	12,277
2010/3期末	9,725	1,643	96	763	12,227
2011/3期末	9,361	1,630	94	660	11,746
2012/3期末	9,541	1,586	116	692	11,936
2013/3期末	10,028	1,694	87	750	12,560

※1:リースみなし取引とは、お客様との間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

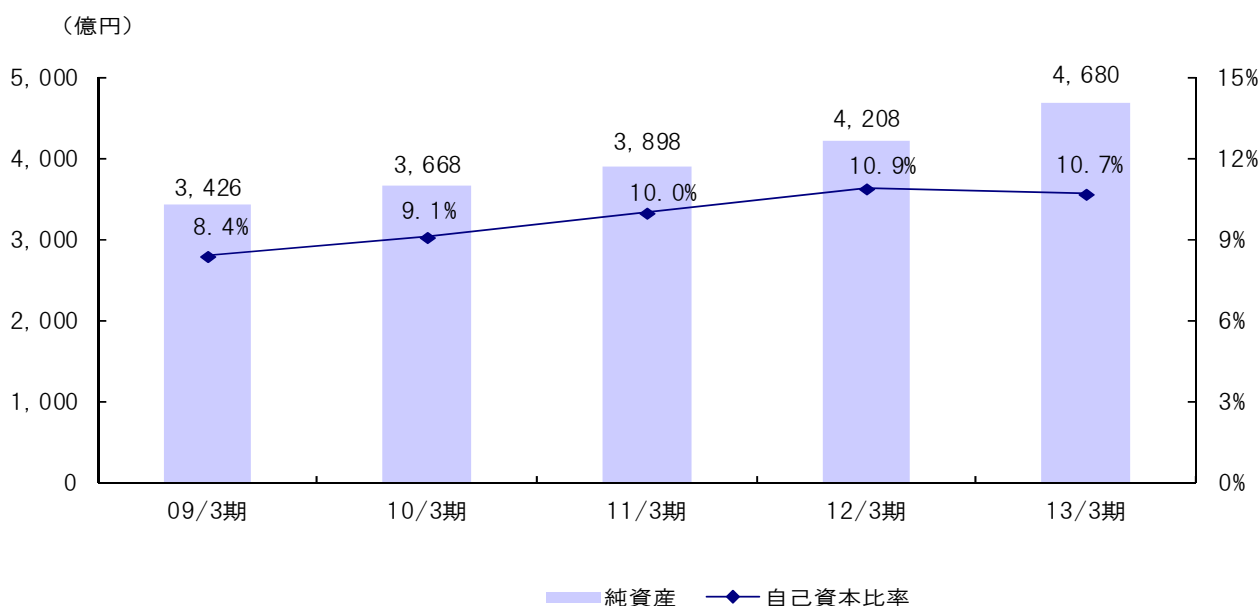
※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

※3:主にファクタリング債権です。

4. 内その他の事業(7行目)

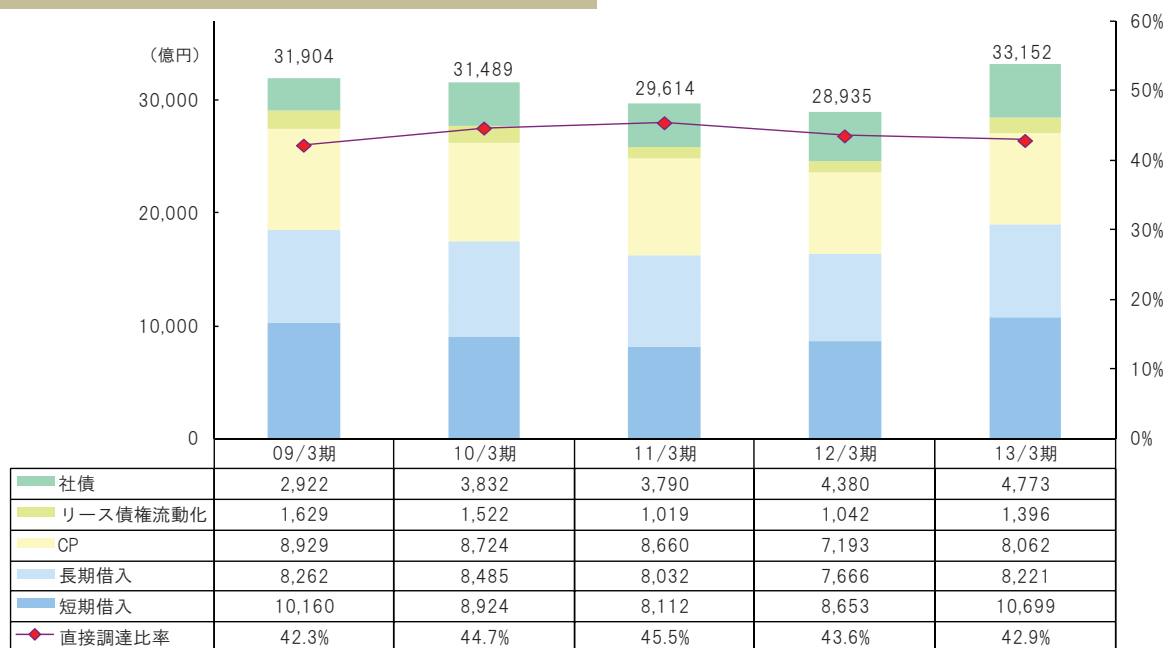
営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

5. 純資産と自己資本比率の推移(1行、11行目)



3. 資金調達状況

(1) 調達構造



連結ベースの有利子負債残高は3兆3,152億円となり、前期末比4,217億円増加いたしました。金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当期末の金利スワップの想定元本(固定化スワップ)は1,471億円です。

(2) 社債の発行状況

① 国内普通社債の発行状況

発行時期	金額	期間	利率 (年)	スプレッド	
				スワップ比	国債比
2009年9月	250億円	4年	1.110%	+33.0bp	-
2010年3月	200億円	4年	0.720%	+6.0bp	-
2010年6月	250億円	5年	0.687%	-3.0bp	+23.0bp
2010年9月	200億円	5年	0.532%	-3.0bp	+23.0bp
2011年1月	200億円	5年	0.634%	-3.0bp	+18.0bp
2011年4月	300億円	5年	0.796%	+8.5bp	+27.0bp
2011年7月	200億円	5年	0.567%	-1.0bp	+16.0bp
2011年12月	200億円	5年	0.660%	+11.2bp	+28.0bp
2012年2月	300億円	3年	0.402%	-0.7bp	+27.0bp
2012年2月	100億円	5年	0.578%	+7.7bp	+27.0bp
2012年5月	300億円	2年	0.280%	-11.9bp	+18.0bp
2012年5月	100億円	5年	0.487%	+0.2bp	+24.0bp
2012年10月	500億円	2年	0.331%	+2.0bp	+23.0bp
2012年10月	100億円	5年	0.436%	+6.4bp	+24.0bp
2013年2月	200億円	3年	0.235%	-3.1bp	+19.0bp

② 最近の外債発行状況

◆米ドル建て社債
発行時期 : 2013年2月
金額 : 5億米ドル
期間 : 5年
利率(年) : 2.00%
スプレッド : 米国債比+125bp

◆タイ・パーツ建て社債※
発行時期 : 2013年3月
金額 : 10億パーツ
期間 : 3年
利率(年) : 3.67%
スプレッド : タイ国債比+79bp

※タイ・パーツ建て社債の発行体は当社タイ現地法人。

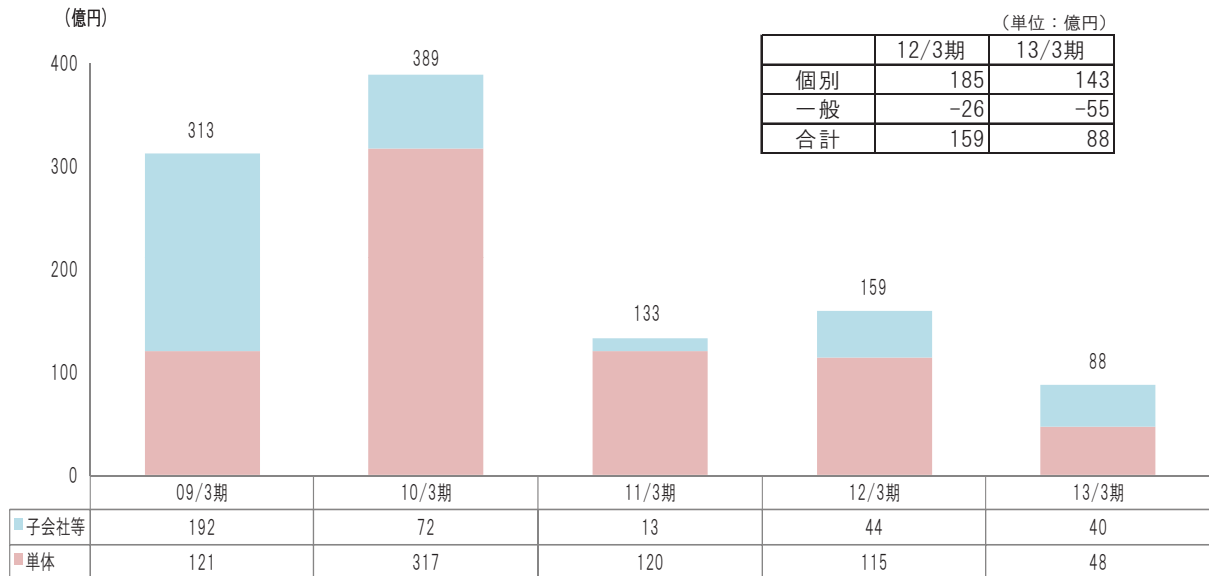
※「スワップ比」は、発行した社債の期間に対応するスワップレートと社債利率の差を表示。

(3) 外部格付について(2013年5月15日時点)

格付機関	長期	短期
JCR (日本格付研究所)	AA-	J-1+
R&I (格付投資情報センター)	A+	a-1
Moody's	A3	-
S&P	A	-

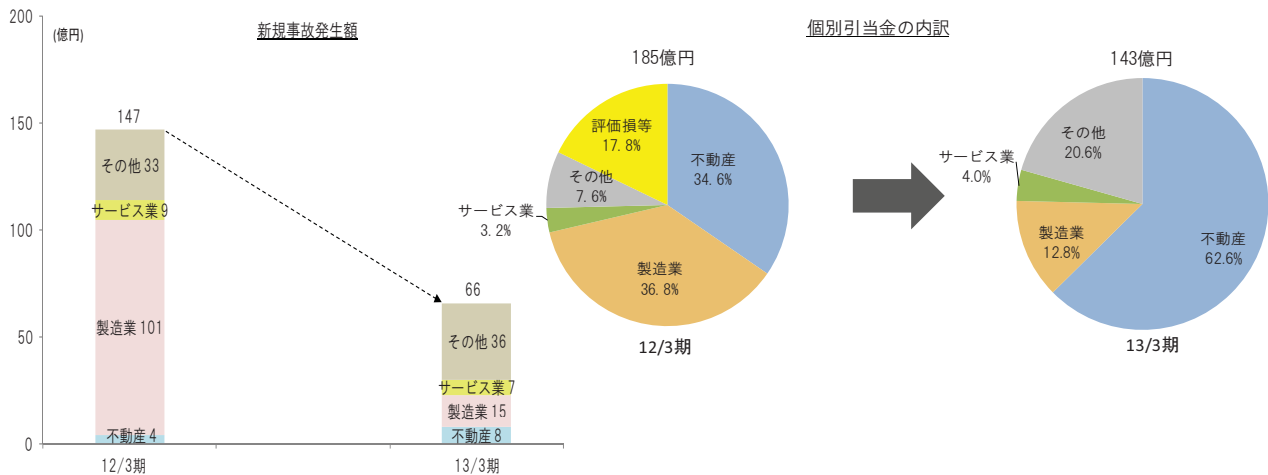
4. 貸倒関連費用等

(1) 総貸倒関連費用の推移

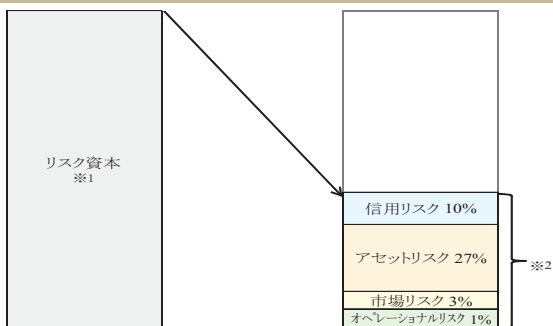


上記金額は、連結ベースの総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、営業外損益、特別損益計上分が含まれています。

(2) 新規事故発生額と個別引当金の前期比較(業種別)



(3) 統合リスク管理



様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2013年3月末時点の各種リスクについて、最大損失額をVaR(Value at Risk)等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

5. 主要連結構成会社の決算概要

金額単位:百万円

損益項目	三菱UFJリース(MUL) (単体)		日医リース(日医) MUL持分割合:100%		ディー・エフ・エル・リース(DFL) MUL持分割合:95%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	463,185	-5.0%	35,882	+1.4%	17,759	-3.8%
売上総利益	69,391	-6.6%	3,676	-4.9%	1,969	-6.8%
営業利益	35,085	+3.5%	1,829	-7.9%	1,268	-22.4%
経常利益	34,992	+0.1%	2,010	-1.8%	1,318	-22.8%
純利益	19,337	-2.9%	1,225	-10.9%	895	-35.3%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,702,877	+4.2%	90,900	+0.7%	44,681	+1.0%
総資産	3,168,981	+8.3%	93,601	+0.7%	46,102	+1.0%
純資産	374,333	+5.6%	11,535	+11.9%	9,002	+11.0%

金額単位:百万円

損益項目	神鋼リース(神鋼) MUL持分割合:80%		カシオリース(CL) MUL持分割合:80%		ひろぎんリース(HL) MUL持分割合:80%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	24,989	-3.6%	12,101	-23.1%	19,252	-6.8%
売上総利益	2,338	+2.6%	1,400	-18.0%	2,171	-10.1%
営業利益	969	-5.7%	721	-24.1%	1,473	+0.8%
経常利益	1,012	-10.4%	771	-23.2%	1,551	-5.4%
純利益	612	-12.8%	471	-32.5%	931	-4.5%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	105,068	+4.0%	27,231	-9.1%	52,878	-0.8%
総資産	109,214	+4.1%	28,194	-8.9%	55,988	+0.0%
純資産	6,772	+9.9%	11,086	+4.4%	9,038	+12.1%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース (首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース (中京) MUL持分割合:70%		MMCダイヤモンドファイナンス (MDF) MUL持分割合:50%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	24,923	+4.1%	7,406	-0.2%	20,282	+8.9%
売上総利益	3,420	-0.9%	802	-6.9%	8,996	+11.6%
営業利益	1,569	-7.6%	541	+135.6%	2,618	+23.4%
経常利益	1,702	-7.8%	600	+115.8%	2,978	+28.5%
純利益	1,055	+23.8%	365	+306.2%	1,754	+28.3%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	98,519	+4.4%	19,527	-3.9%	256,482	+9.7%
総資産	101,844	+4.7%	20,753	-4.3%	279,613	+11.3%
純資産	11,029	+10.7%	5,071	+7.7%	14,536	+13.7%

金額単位:百万円

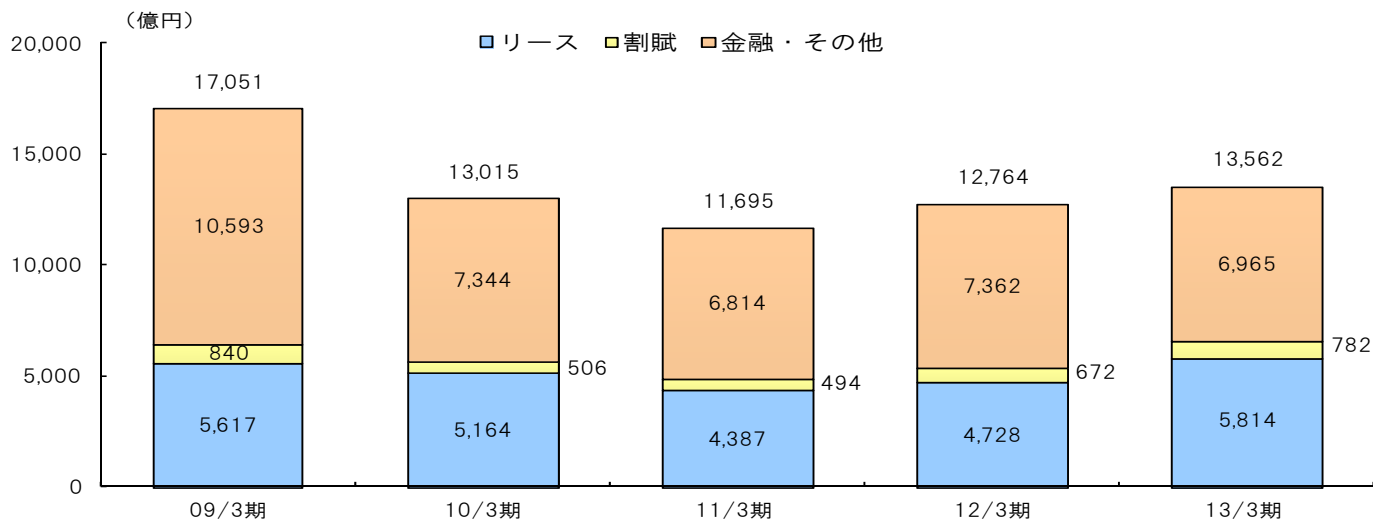
損益項目	ダイヤモンドレンタルシステム (DRS) MUL持分割合:100%		ダイヤモンドアセットファイナンス (DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング (御幸ビル) MUL持分割合:98%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	24,398	-0.8%	19,011	-19.5%	6,313	+0.1%
売上総利益	2,323	-5.0%	4,726	+10.7%	3,406	+1.7%
営業利益	755	-3.2%	2,392	-25.3%	2,908	+2.7%
経常利益	755	+1.9%	2,525	-25.2%	2,348	+3.4%
純利益	465	+5.2%	2,531	-34.0%	1,393	+7.5%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	56,799	+12.6%	182,689	+9.3%	59,951	+11.8%
総資産	59,122	+12.6%	188,483	+6.9%	62,796	+9.8%
純資産	4,512	+11.5%	18,934	+15.4%	20,343	+7.3%

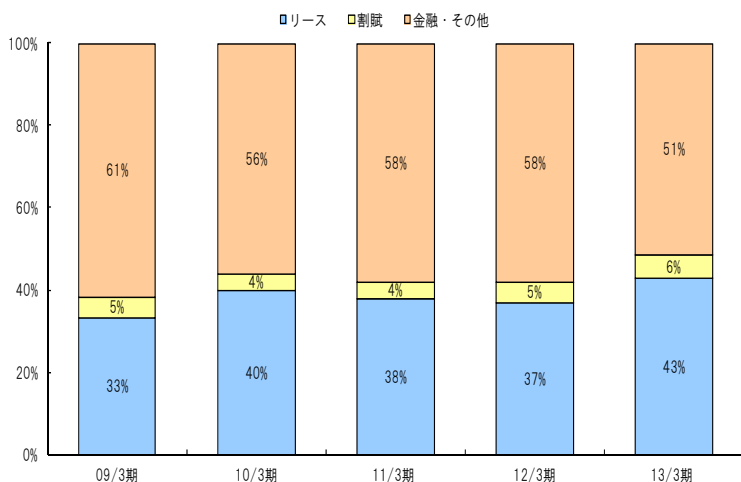
6. 営業状況(契約実行高)

2013年3月期における契約実行高は、前期比6.3%増加の13,562億円となりました。取引種類別の内訳は、リース取引が前期比23.0%増加、割賦取引が前期比16.3%増加、金融・その他取引が前期比5.4%減少となりました。取引種類別構成比は、リース43%、割賦6%、金融・その他51%となっております。

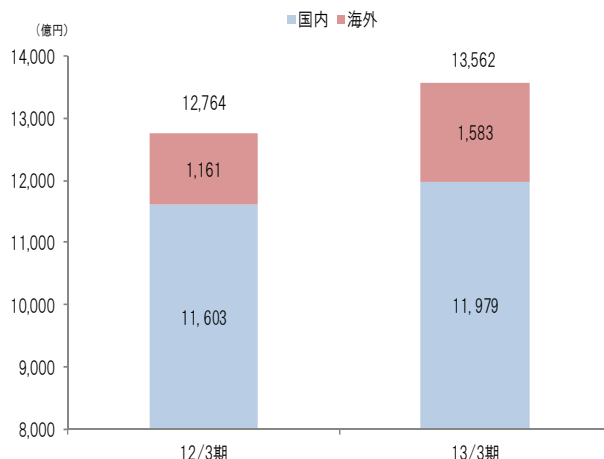
取引種類別契約実行高(元本ベース)の推移



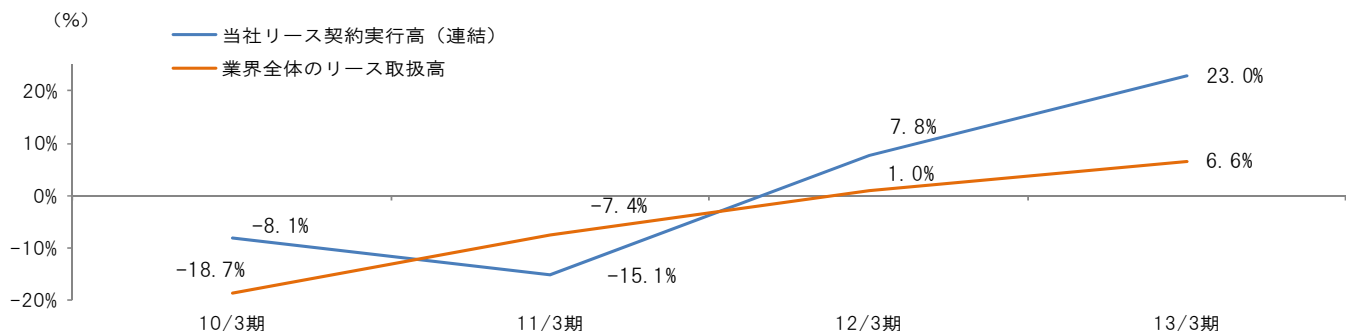
取引種類別契約実行高の構成比



国内外契約実行高の推移



当社のリース契約実行高(連結)と業界全体のリース取扱高(リース事業協会公表)の増減推移



※13/3期の業界全体の数値は公益社団法人リース事業協会が2013年4月30日に公表したリース統計(速報値)を掲載

リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2012/3期	2013/3期	前期比
情報関連・事務用機器	1,311	1,317	+0.4%
産業・工作機械	1,048	1,242	+18.5%
土木建設機械	180	316	+75.6%
輸送用機器	467	767	+64.2%
医療機器	436	477	+9.3%
商業用およびサービス機器	606	667	+10.1%
その他	678	1,026	+51.2%
合計	4,728	5,814	+23.0%

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2012/3期	2013/3期	前期比
情報関連・事務用機器	27	29	+4.6%
産業・工作機械	96	80	-16.1%
土木建設機械	150	193	+28.5%
輸送用機器	29	38	+27.4%
医療機器	61	82	+34.3%
商業用およびサービス機器	155	197	+26.8%
その他	151	161	+6.6%
合計	672	782	+16.3%

金融・その他契約実行高

(単位:億円)

	2012/3期	2013/3期	前期比
ファクタリング	2,795	2,325	-16.8%
不動産関連	1,628	1,602	-1.6%
その他融資等	2,938	3,037	+3.4%
合計	7,362	6,965	-5.4%

契約実行高 合計(リース、割賦、金融・その他)

(単位:億円)

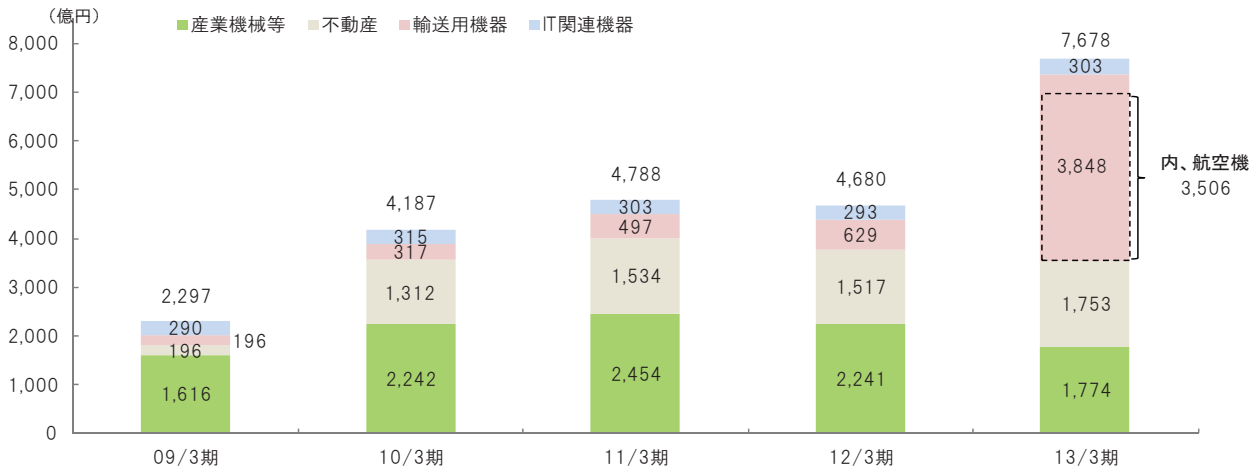
	2012/3期	2013/3期	前期比
合計	12,764	13,562	+6.3%

7. 営業の取組み

1) オペレーティングリース

物件価値に着目し、リース期間満了後の残価を設定しリース料を算定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送用機器、PCレンタル等、幅広い物件を取り扱っています。オペレーティングリースは、お客様のご希望に応じたリース期間の設定が可能のため、生産スケジュールに応じた機動的な設備導入が可能です。当社は業界で早くからオペレーティングリースを展開し、サービスの向上を図っております。

オペレーティングリース残高推移



2) 中古機器売買

リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体製造設備や、工作機械、医療機器、情報関連機器など、多種多様な中古機器の売買事業を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

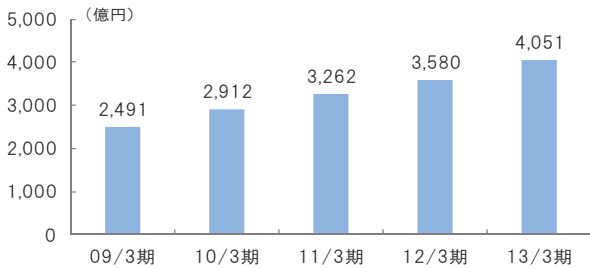
三菱UFJリースのグループネットワーク

<p>ユーマシン</p> 	<p>年間5千台以上の機器を取り扱う中古工作機械・産業機械の専門商社。2012年にはタイ現法を設立、国内外の5ヶ所に専用倉庫を構え、きめ細かなサービスを提供しております。</p>	<p>エム・キャスト</p> 	<p>中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。業界で初めてISO 9001を取得するなど、徹底した品質管理を行い、安全性の高い中古医療機器を提供しています。</p>	
<p>MUL エコビジネス</p> 	<p>リースアップしたPCやOA機器など年間約32万台を仕入れ、データ消去などの情報漏洩対策を施した上で、リユース・リサイクルを行っています。</p>	<p>ダイヤモンドイクイップメント</p> 	<p>中古半導体製造装置の販売と買取を行う専門商社。ワールドワイドのネットワークで、国内外のお客様に装置の売買情報を提供しています。</p>	<p>グローバル・アセット・ソリューション</p>  <p>工場の不要となったライン一式などの大規模設備や、用途に応じてカスタマイズされた機器などを対象とした仕入・販売をグローバルに手がけています。</p>

3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)

当社独自の資産管理サービス「**e-Leasing Direct**」では、契約から満了までの一連の手続きをWeb上で行うことができ、リース会計基準に対応した会計関連情報を迅速かつ無償でお客様にご提供いたします。お客様が使用されている資産データと、リース契約情報を紐付けることができますので、資産管理やコスト把握にもご活用頂けます。さらに、お客様が社内で行うリース契約手続きにおいて、**e-Leasing Direct**が持つ電子承認機能をご活用頂くことで、内部統制管理の強化にもお役立て頂けます。

e-Leasing Direct の残高推移



導入事例



【TOPICS】

資産管理の新サービスを開始

2012年10月より、新サービス「**e-Leasing Direct Platinum**」の取扱いを開始しました。

e-Leasing Direct Platinumは、お客様が保有するすべての資産についての導入から処分に至るまでの様々な情報(アセットライフログ)を統合して管理することのできる、全く新しいコンセプトの資産管理プラットフォームです。

「アセットライフログ」を一元管理

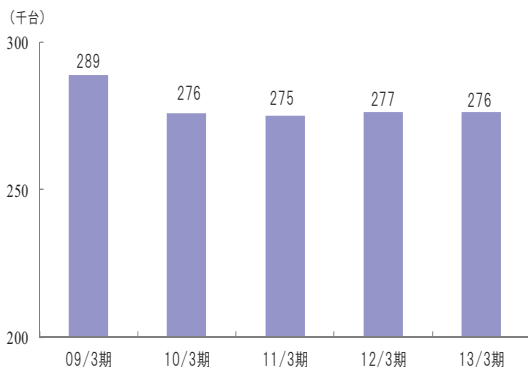


資産のライフサイクルにおける各部門の様々な情報を一元管理することで、経営資源の最適化が可能に！

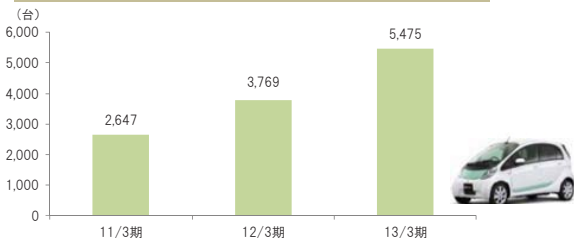
4) オートリース

オートリース事業を行う三菱オートリース(三菱UFJリース50%、三菱商事50%出資)、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドファイナンス(三菱UFJリース50%、三菱自動車工業47%出資)をグループ会社に擁し、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。2013年3月末時点のグループ全体の車両管理台数は約276千台となっています。

車両管理台数の推移

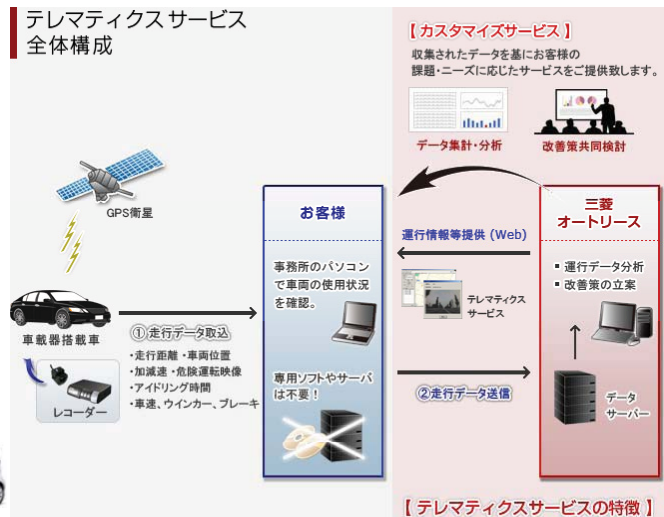


電気自動車の管理台数の推移



テレマティクスサービス(三菱オートリース)

車載器(映像記録型ドライブレコーダー)を搭載することにより、車両ごとに危険運転映像と運行データを取得・解析し、現状の「見える化」を行います。

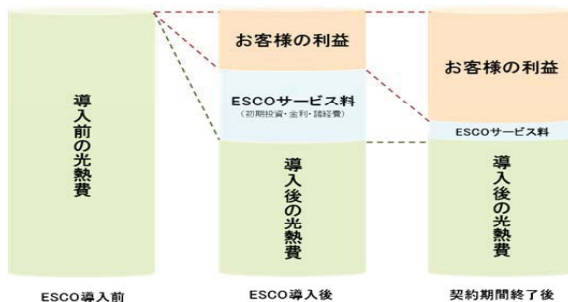


5) 環境関連サービス

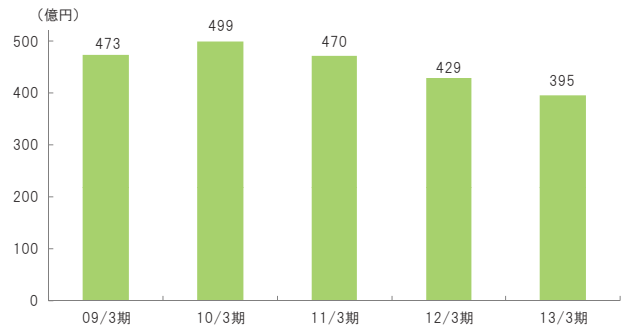
① ESCO (Energy Service Company) 事業

ビルや工場、ホテル、病院などの施設に対して、省エネルギー化のプランニング、改修工事、ファイナンス提供、エネルギー削減の効果保証などパッケージでサポートするESCO事業において、当社は豊富な実績とノウハウにより、お客様に合ったサービスを提供しています。これまでの取扱件数は累計で414件と、全てのESCO事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

ESCOの導入メリット(イメージ)



ESCOの残高推移



ESCO事業による導入事例

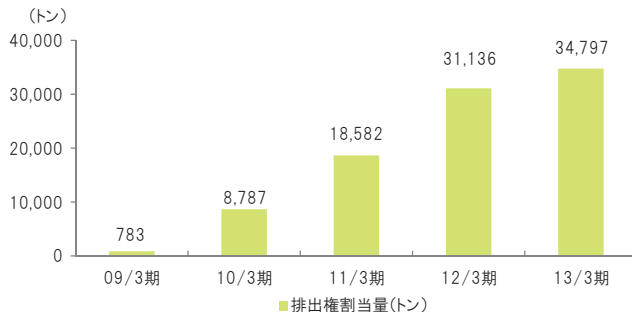
ホテルや工場、病院などのエネルギー消費量の多い施設を中心に導入頂いております。



② 排出権関連サービス

地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当て、リース物件から生ずるCO2を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」など排出権関連サービスをご提供しております。また、省エネ設備の導入によるCO2排出削減分から排出権を創出するサービスを行うなど、排出権に関する幅広いサービスをご提供しております。2013年3月末時点において、排出権割当量は累計で34,797トンの実績となっております。

排出権割当量の推移(累計)



導入事例



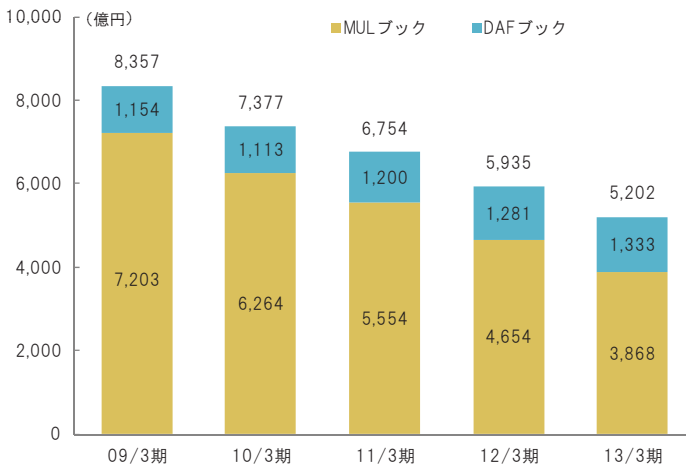
③ 環境ファイナンス

廃棄物処理施設や風力・太陽光等の発電設備の建設に際して、事業の収益性や安定性に重点をおいた「事業性担保融資」などを活用し、幅広いニーズに対応しております。なお、太陽光発電については、ファイナンス機能に留まらない幅広いサービスをご提供すること等、プロジェクト全体に積極的にかかわっております。

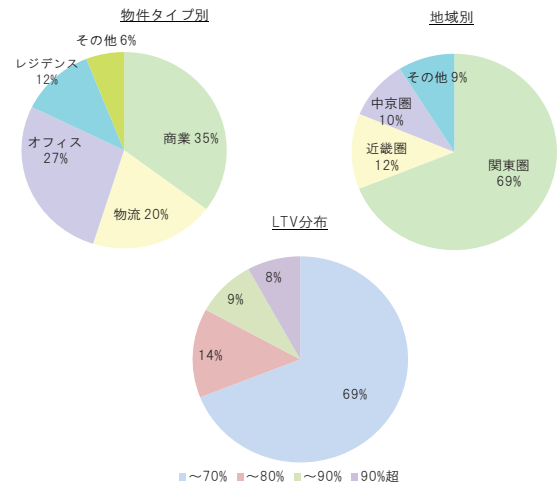
6)不動産関連ファイナンス(不動産関連サービス)

主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンスでは、対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に様々な案件を取組んでいます。不動産のノンリコースローンでは、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取組んでいます。また、グループ会社のダイヤモンドアセットファイナンス(DAF)では、プロジェクトファイナンスやオーナーローンを取り扱うなど不動産関連におけるお客様の様々なニーズにお応えしています。

不動産関連ファイナンスの残高推移



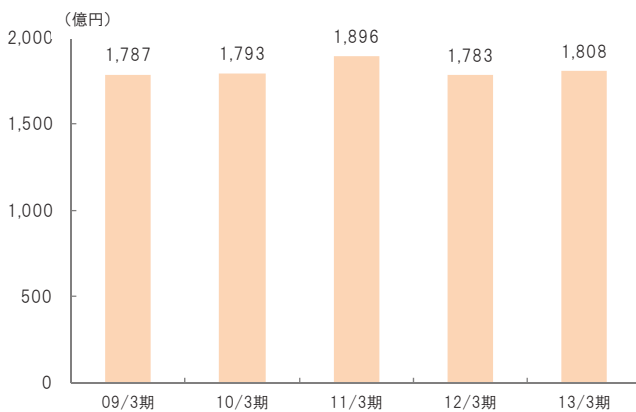
MULブック案件内訳とLTV分布 (2013年3月末時点)



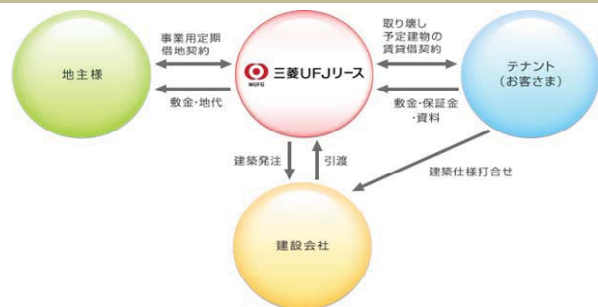
7)シンフォニー(不動産関連サービス)

事業用定期借地権を利用した建物賃貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや複合型商業施設を始め、物流施設やショールーム、飲食チェーン店など様々な建物を取組んでおります。テナント、デベロッパーの皆様にとっては、少額の初期投資でご希望の建物を機動的に展開でき、また、地主様にとっては土地の有効活用を図ることができます。

シンフォニーの残高推移



シンフォニーのスキーム



- 主なメリット**
- ✓初期投資が軽減
 - ✓キャッシュフロー負担の軽減
 - ✓コスト把握が容易
 - ✓複数の土地オーナーとの交渉が容易
 - ✓建物の所有に伴う管理事務の簡素化

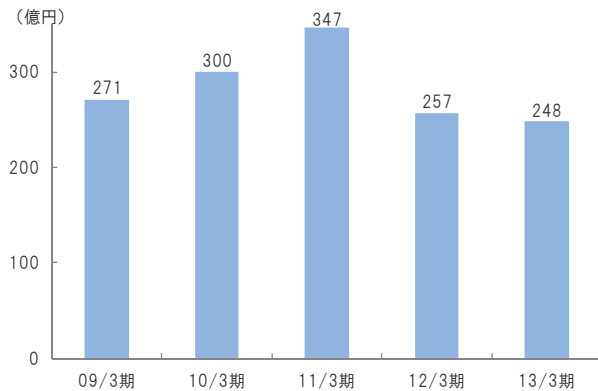
導入事例



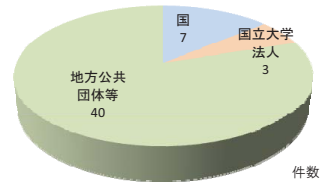
8)PFI事業

民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてプロジェクト全体のマネジメントや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。これまで当社は、累計で50件を受注し、うち15件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

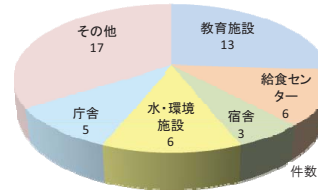
PFI事業における営業資産残高の推移



発注者別PFI事業内訳



施設種類PFI事業内訳



【TOPICS】

「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業」が竣工

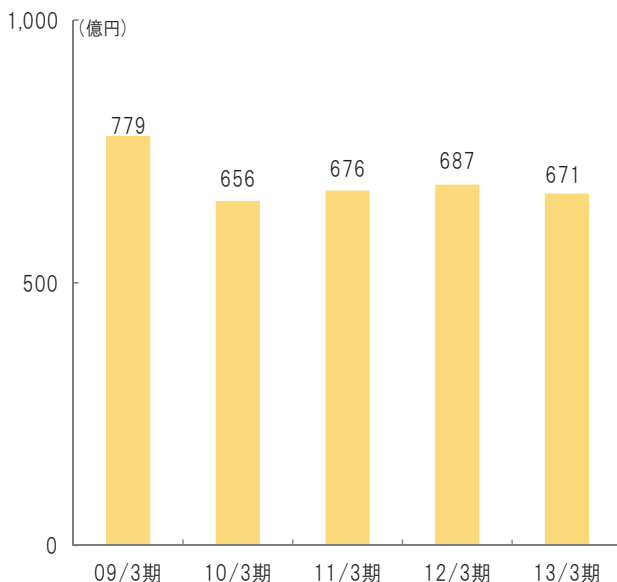
神奈川県横浜市によるPFI事業「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う公益施設整備事業」が、本年2月に竣工いたしました。



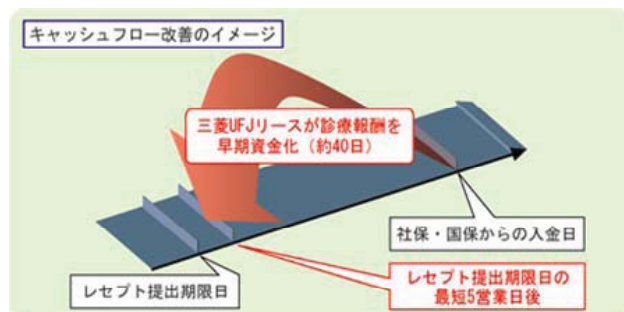
9)ファクタリング

小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象に、お客様の資金ニーズに対応しています。お客様は債権を当社に譲渡することで、早期に資金化が可能となりキャッシュフローの改善を図ることができます。また、ファクタリングを活用して資産のスリム化に繋げるなど、財務戦略にも広くご利用いただいております。

ファクタリング(期中平均)残高の推移



診療報酬ファクタリングのイメージ



主なメリット

- ・早期資金化
- ・調達手段の多様化
- ・財務内容の改善(バランスシートのスリム化)

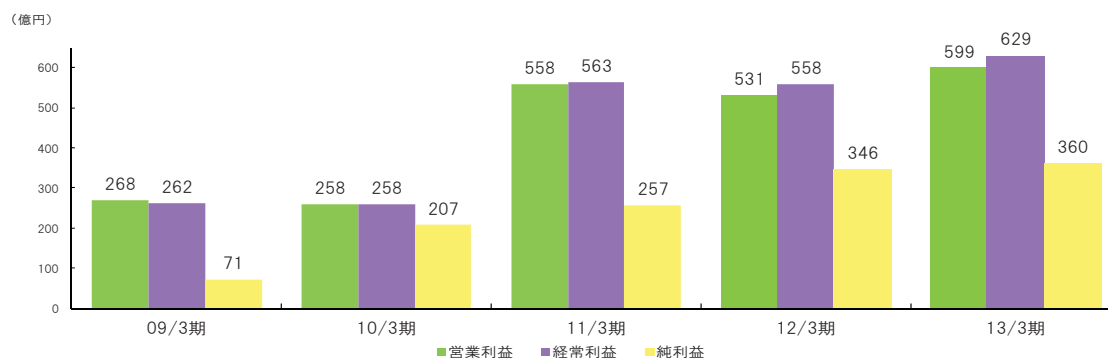
8. 2014年3月期業績予想

2014年3月期決算(予想)

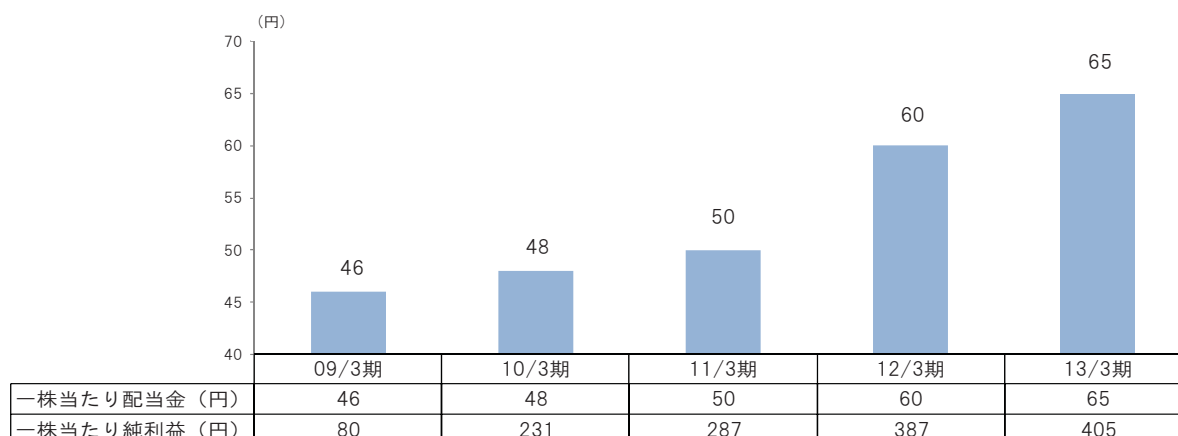
	連結	
	金額(億円)	前期比
売上高	7,100	+1.7%
売上総利益	1,200	+1.7%
営業利益	530	-11.6%
経常利益	560	-11.1%
純利益	320	-11.2%
一株当たり配当金	6円70銭	+20銭

上記数値は2013年5月15日時点での2014年3月期業績予想です。
 なお、2013年4月1日を効力発生日として普通株式1株を10株に分割しており、上記の一株当たり配当予想につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

連結業績の推移



配当推移



9. 中期経営計画 “ Vision 2013 ”

1. 中期経営計画 “ Vision2013 ”



アジアを代表する総合ファイナンスカンパニーへ

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ アジアの成長の取り込み <ul style="list-style-type: none"> -環境ビジネスのアジア展開 -ベンダーファイナンスの推進 -中古機器売買ビジネスの海外展開 ■ 付加価値サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> -資産管理サービスの機能拡充 -環境関連商品・サービスの拡充 ■ コア事業（リース・割賦）の再強化 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 提供機能の多様化 ■ 事業インフラの整備・強化 <ul style="list-style-type: none"> -海外拠点のシステム整備 ■ リスクマネジメントの高度化 ■ 組織・人員体制の強化 |
|--|---|

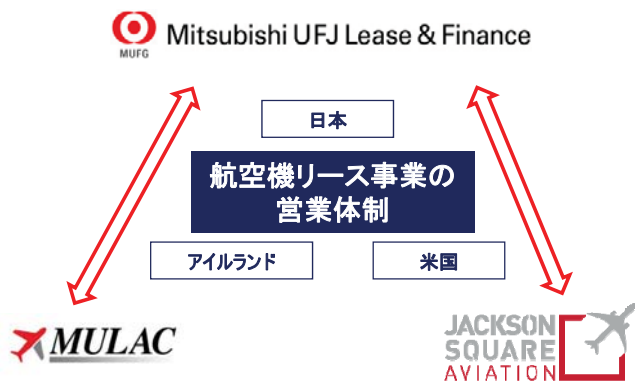
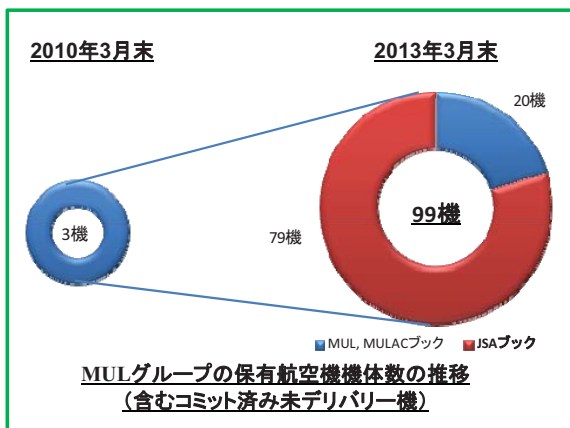
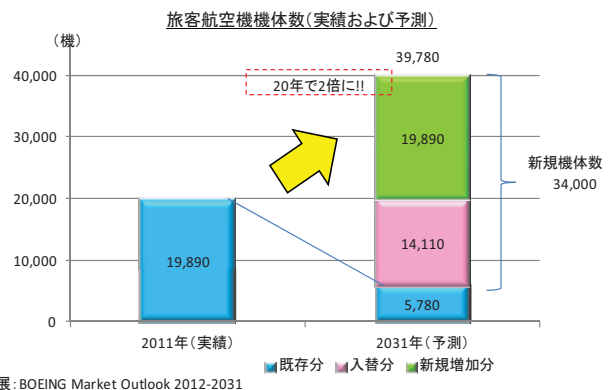
2. 重点分野

1) グローバルアセット事業 - 航空機リース事業 -

航空機リース事業の拡大 - JSA のグループ化 -

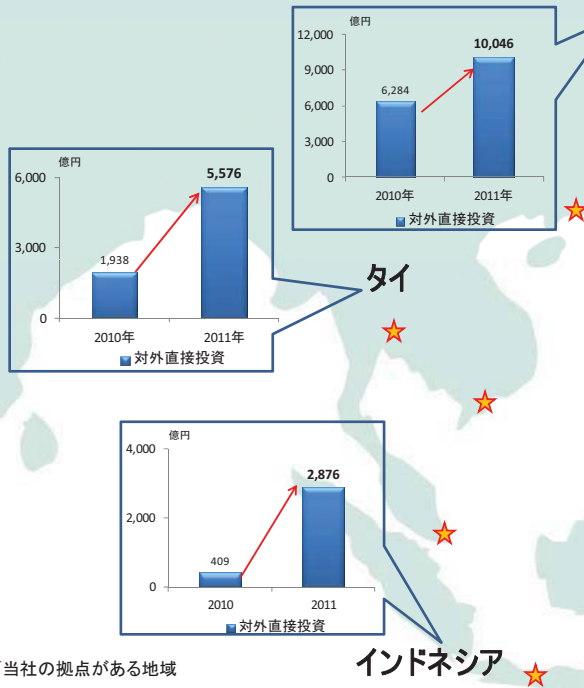
2013年1月に米国の大手航空機リース会社であるJSA International Holdings, L.P. (JSA)の全出資持分を取得し、航空機リース事業の体制を強化しました。新興国における需要拡大や格安航空会社(LCC)の台頭などにより、航空機旅客輸送量の増加が見込まれております。引き続き、日本・アイルランド・米国の3拠点が中心となり、航空機リース事業の拡大と提供機能の拡充に一層注力してまいります。

また、航空機以外にもグローバル市場での流通性と価値が見いだせる航空機エンジン、船舶、コンテナ、貨車などのグローバルアセットに積極的に取り組んでおります。



2) 国際事業

日本企業のアジア諸国での設備投資が増加しております。当社では海外における様々なお客様ニーズにお応えするため、拠点充実やアライアンスの強化を図りながら、海外市場での事業展開を加速させています。

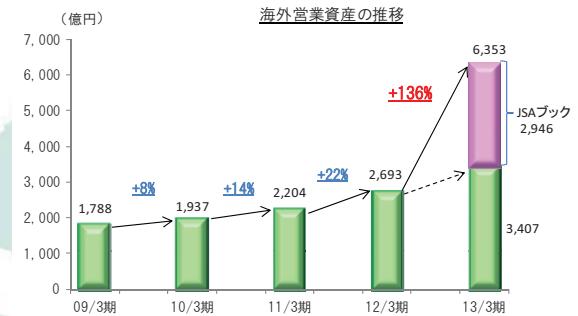
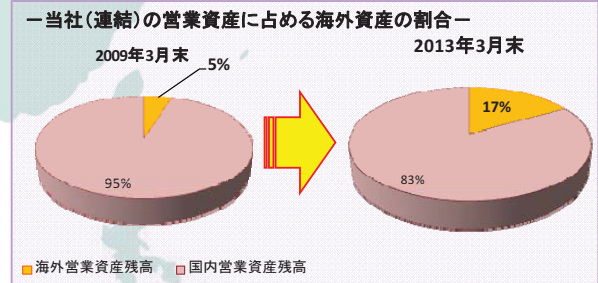


★当社の拠点がある地域

対外直接投資額は、財務省「国際収支状況」を参考に当社にて作成。

中国

当社の海外営業資産は、現地での設備投資ニーズに積極的にお応えしながら着実に実績を伸ばしております。



3) 環境事業 — 再生可能エネルギー関連 —

昨年7月に施行された固定価格買取制度(FIT)を契機に、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの普及が期待されており、当社の取扱高も大幅に増加しております。

集合賃貸住宅の屋根を活用した「屋根借り太陽光発電プロジェクト」を開始

全国各地にある賃貸住宅の屋根を活用した太陽光発電プロジェクトを開始いたします。本プロジェクトを通じて、全国にある賃貸物件の有効活用と同時に再生可能エネルギーの普及促進を目指してまいります。

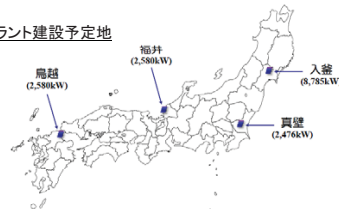
太陽光パネルを設置した集合賃貸住宅の屋根



三菱マテリアルと共同で社有地を活用した太陽光発電プロジェクトを開始

三菱マテリアル株式会社と共同で、国内にある三菱マテリアルグループの社有地を活用した太陽光発電プロジェクトを開始しました。

太陽光発電プラント建設予定地



国内最大級の太陽光発電プロジェクトへの参画

三菱商事株式会社と株式会社シーテックが中心となり推進しているが愛知県田原市において組成する国内最大規模の太陽光発電プロジェクトに参画いたしました。当社は、三菱商事が保有する出資持分の一部を譲り受け、事業者として20年に亘る発電事業に携わってまいります。



海外メガソーラー発電を対象としたプロジェクトファイナンス型リースを成約

タイで建設予定のメガソーラー発電プロジェクトを対象としたプロジェクトファイナンス型リースを成約しました。当社は、当プロジェクトに対し8年間のリースを行います。なお、リース料は本件発電プロジェクトによって生まれる収入より支払われます。

建設中の太陽光発電プラント (コンケン県チュンペー郡)





Value Integrator